

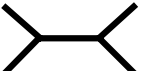
1.1.2 IT推進会議SWOT分析図

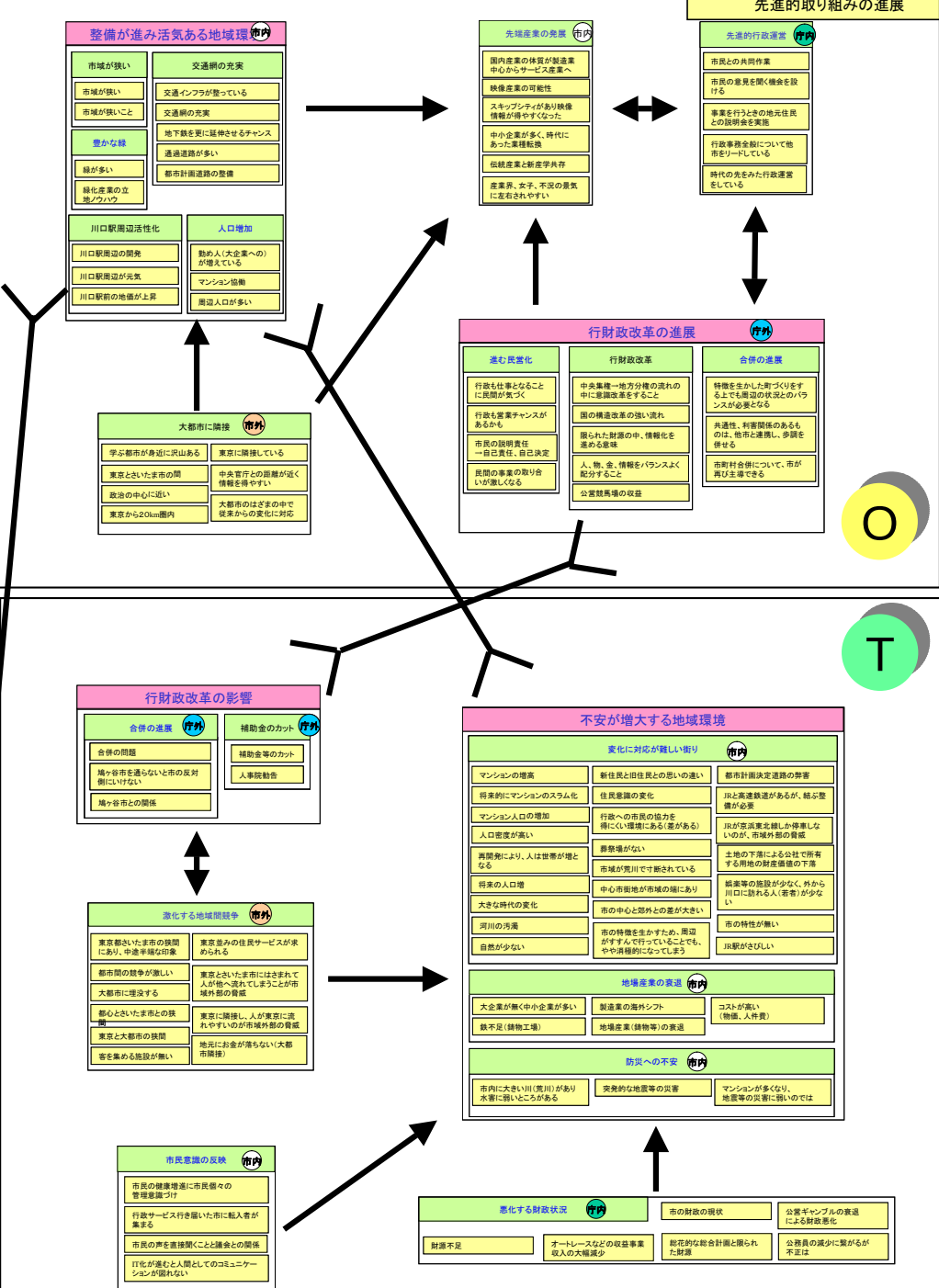
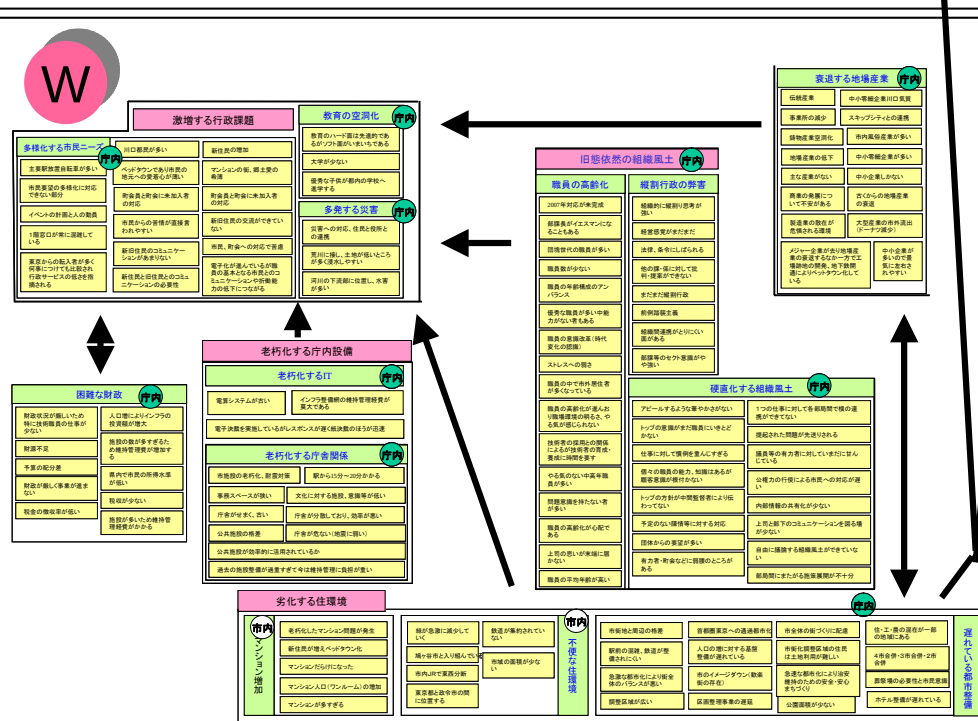
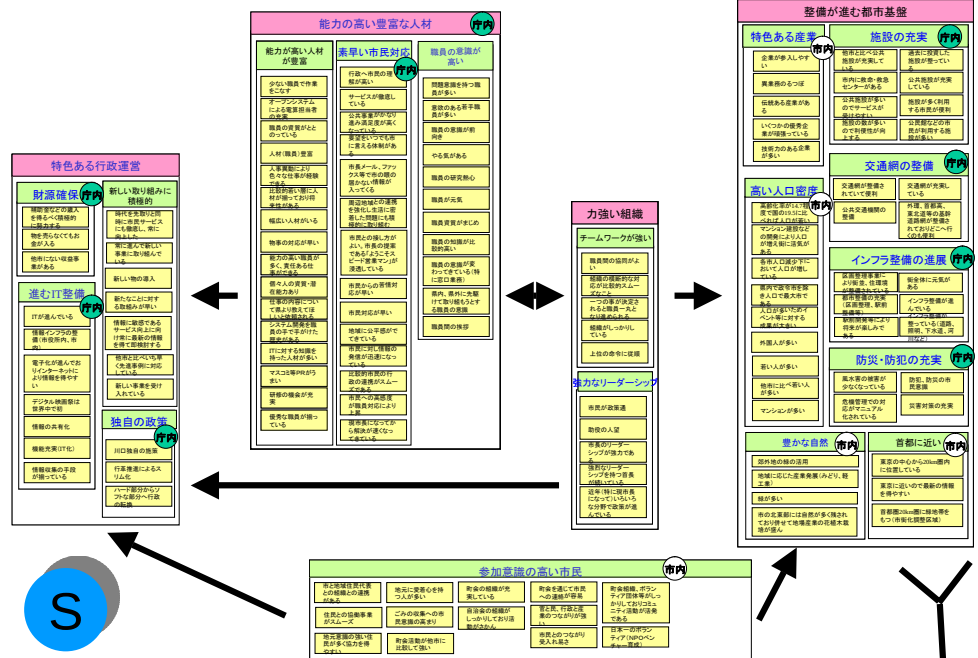
IT推進会議：川口市の各部局の部局長等により構成

(本資料は、平成17年9月28日のIT推進会議で行われたSWOT分析結果を整理したものです。)

凡 例

記 号	説 明
	庁内に関する内容
	庁外に関する内容
	市内に関する内容
	市外に関する内容
青字	EA策定チームで修正・追記したもの
赤字	内容が不明確であり、書いた本人に意図・意味の確認が必要なもの

記 号	説 明
	主従関係
	相互関係
	矛盾関係
	接続記号 (1からの連番)



特色ある行政運営
を支える優秀な
人材

特色ある行政運営

財源確保 市内

補助金などの歳入を得るべく積極的に努力する

物を売らなくてもお金が入る

他市にない収益事業がある

進むIT整備 市内

ITが進んでいる

情報インフラの整備(市役所内、市内)

電子化が進んでおりインターネットにより情報を得やすい

デジタル映画祭は世界中で初

情報の共有化

機能充実(IT化)

情報収集の手段が揃っている

新しい取り組みに積極的

時代を先取りと同時に市民サービスにも徹底し、常に向上した

常に進んで新しい事業に取り組んでいる

新しい物の導入

新たなことに対する取り組みが早い

情報に敏感であるサービス向上に向け常に最新の情報を得て即検討する

他市と比べいち早く先進事例に対応している

新しい事業を受け入れている

独自の政策 市内

川口独自の施策

行革推進によるスリム化

ハード部分からソフトな部分へ行政の転換

能力の高い豊富な人材 市内

能力が高い人材が豊富

少ない職員で作業をこなす

オープンシステムによる電算担当者の充実

職員の資質がととのっている

人材(職員)豊富

人事異動により色々な仕事を経験できる

比較的若い層に人材が揃っており将来性がある

幅広い人材がいる

物事の対応が早い

能力の高い職員が多く、責任ある仕事ができる

個々人の資質・潜在能力あり

仕事の内容について県より教えてほしいと依頼される

システム開発を職員の手で手がけた歴史がある

ITに対する知識を持った人材が多い

マスコミ等PRがうまい

研修の機会が充実

優秀な職員が揃っている

素早い市民対応 市内

行政へ市民の理解が高い

サービスが徹底している

公共事業がかなり進み満足度が高くなっている

要望をいつでも市に言える体制がある

市長メール、ファックス等で市の目の届かない情報が入ってくる

周辺地域との連携を強化し生活に密着した問題にも積極的に取り組む

市民との接し方がよい。市長の提案である「ようこそスピード営業マン」が浸透している

市民からの苦情対応が早い

地域に公平感ができている

市民に対し情報の発信が迅速になっている

比較的市民の行政の連携がスムーズである

市民への高感度が職員対応により上昇

現市長になってから解決が速くなってきている

職員の意識が高い

問題意識を持つ職員が多い

意欲のある若手職員が多い

職員の意識が前向き

やる気がある

職員の研究熱心

職員が元気

職員資質がまじめ

職員の知識が比較的高い

職員の意識が変わってきている(特に窓口業務)

県内、県外に先駆けて取り組もうとする職員の意識

職員間の挨拶

力強い組織

チームワークが強い

職員間の協同がよい

組織の横断的な対応が比較的スムーズなこと

一つの事が決定されると職員一丸となり進められる

組織がしっかりしている

上位の命令に従順

強力なリーダーシップ

市民が政策通

助役の人望

市長のリーダーシップが強力である

強烈なリーダーシップを持つ首長が続いている

近年(特に現市長になって)いろいろな分野で政策が進んでいる

参加意識の高い市民 市内

市と地域住民代表との組織との連携がある

住民との協働事業がスムーズ

地元意識の強い住民が多く協力を得やすい

地域に愛着心を持つ人が多い

ごみの収集への市民意識の高まり

町会活動が他市に比較して強い

町会の組織が充実している

自治会の組織がしっかりしており活動がさかん

町会を通じて市民への連絡が容易

官と民、行政と産業のつながりが強い

市民とのつながり受け入れ易さ

町会組織、ボランティア団体等がしっかりしておりコミュニティ活動が活発である

日本一のボランティア(NPOベンチャー育成)

整備が進む都市基盤

特色ある産業 市内

企業が参入しやすい

異業務のつぼ

伝統ある産業がある

いくつかの優秀企業が頑張っている

技術力のある企業が多い

施設の充実 市内

他市と比べ公共施設が充実している

市内に救命・救急センターがある

公共施設が多いのでサービスが受けやすい

施設の数が多いので利便性が向上する

過去に投資した施設が整っている

公共施設が充実している

施設が多く利用する市民が便利

公民館などの市民が利用する施設が多い

交通網の整備 市内

交通網が整備されていて便利

公共交通機関の整備

交通網が充実している

外環、首都高、東北道等の基幹道路網が整備されておりどこへ行くのも便利

高い人口密度 市内

高齢化率が14.7程度で国の19.5に比べれば人口が若い

マンション建設などの開発により人口が増え街に活気がある

各市人口減少下において人口が増えている

県内で政令市を除き人口で最大市である

人口が多いためイベント等に対する成果が大きい

外国人が多い

若い人が多い

他市に比べ若い人が多い

マンションが多い

インフラ整備の進展 市内

区画整理事業により街並、住環境が整備されている

都市整備の充実(区画整理、駅前整備等)

駅前開発等により将来が楽しみである

街全体に元気がある

インフラ整備が進んでいる

インフラ整備が整っている(道路、照明、下水道、河川など)

防災・防犯の充実 市内

風水害の被害が少なくなっている

危機管理での対応がマニュアル化されている

防犯、防災の市民意識

災害対策の充実

豊かな自然 市内

郊外地の緑の活用

地域に応じた産業発展(みどり、軽工業)

緑が多い

市の北東部には自然が多く残されており併せて地場産業の花植木栽培が盛ん

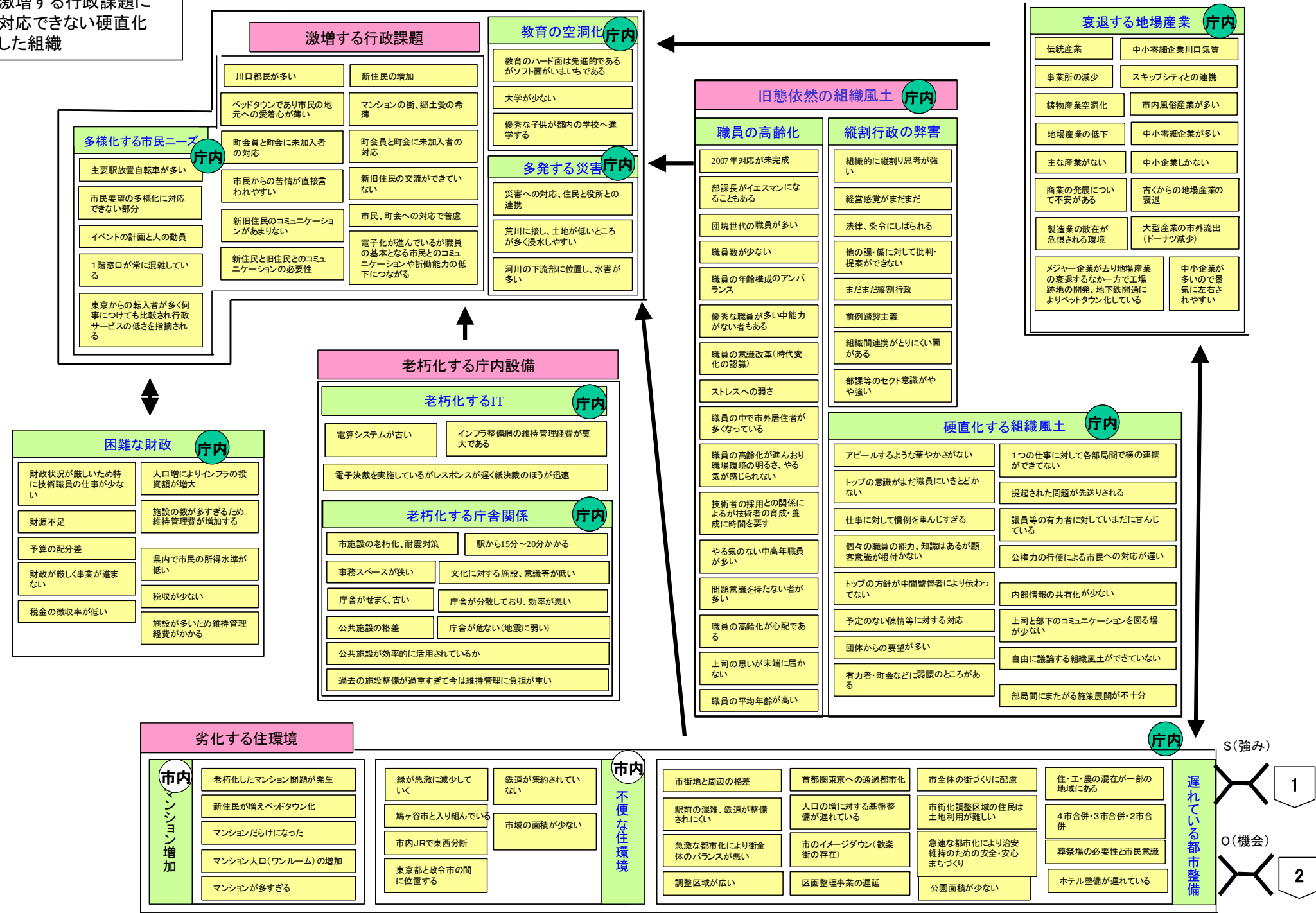
首都に近い 市内

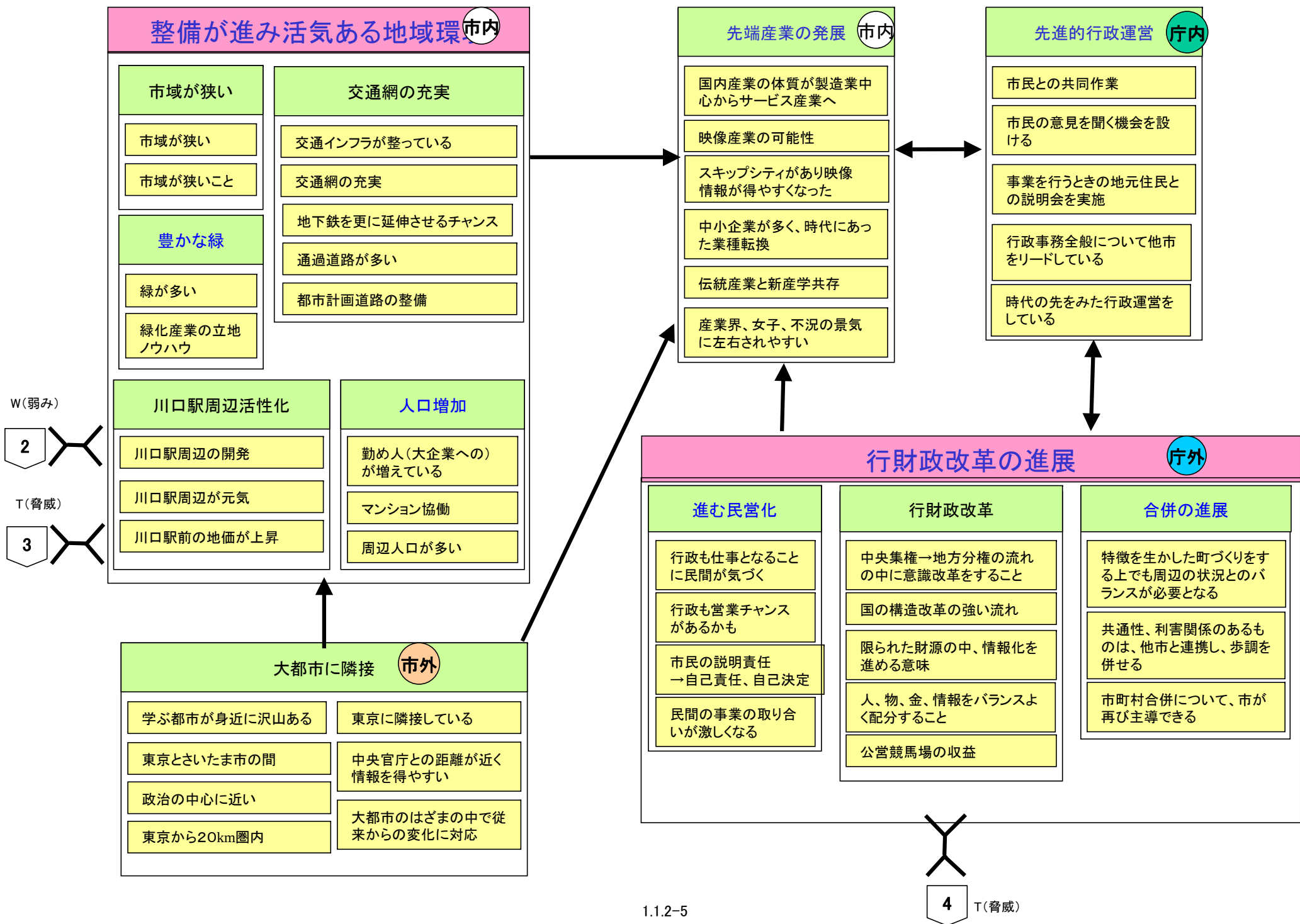
東京の中心から20km圏内に位置している

東京に近いので最新の情報を得やすい

首都圏20km圏に緑地帯をもつ(市街化調整区域)

激増する行政課題に
対応できない硬直化
した組織





行財政改革の影響

合併の進展 庁外

合併の問題

鳩ヶ谷市を通らないと市の反対側にいけない

鳩ヶ谷市との関係

補助金のカット 庁外

補助金等のカット

人事院勧告

O(機会)

4

激化する地域間競争 市外

東京都さいたま市の狭間にあり、中途半端な印象

東京並みの住民サービスが求められる

都市間の競争が激しい

東京とさいたま市にはさまれて人が他へ流れてしまうことが市域外部の脅威

大都市に埋没する

都心とさいたま市との狭間

東京に隣接し、人が東京に流れやすいのが市域外部の脅威

東京と大都市の狭間

客を集める施設が無い

地元にお金が落ちない(大都市隣接)

市民意識の反映 市内

市民の健康増進に市民個々の管理意識づけ

行政サービス行き届いた市に転入者が集まる

市民の声を直接聞くことと議会との関係

IT化が進むと人間としてのコミュニケーションが図れない

不安が増大する地域環境

変化に対応が難しい街 市内

マンションの増高

新住民と旧住民との思いの違い

都市計画決定道路の弊害

将来的にマンションのスラム化

住民意識の変化

JRと高速鉄道があるが、結ぶ整備が必要

マンション人口の増加

行政への市民の協力を得にくい環境にある(差がある)

JRが京浜東北線しか停車しないのが、市域外部の脅威

人口密度が高い

葬祭場がない

土地の下落による公社で所有する用地の財産価値の下落

再開発により、人は世帯が増となる

市域が荒川で寸断されている

土地の下落による公社で所有する用地の財産価値の下落
娯楽等の施設が少なく、外から川口に訪れる人(若者)が少ない

将来の人口増

中心市街地が市域の端にあり

大きな時代の変化

市の中心と郊外との差が大きい

河川の汚濁

市の特徴を生かすため、周辺がすすんで行っていることでも、やや消極的になってしまう

市の特性が無い

自然が少ない

JR駅がさびしい

地場産業の衰退 市内

大企業が無く中小企業が多い

製造業の海外シフト

コストが高い(物価、人件費)

鉄不足(鋳物工場)

地場産業(鋳物等)の衰退

防災への不安 市内

市内に大きい川(荒川)があり水害に弱いところがある

突発的な地震等の災害

マンションが多くなり、地震等の災害に弱いのでは

O(機会)

3

悪化する財政状況 市内

財源不足

オートレースなどの収益事業収入の大幅減少

市の財政の現状

公営ギャンブルの衰退による財政悪化

総体的な総合計画と限られた財源

公務員の減少に繋がるが不正は